

心齋橋駅(地下鉄御堂筋線・長堀鶴見緑地線)①

天下一の花街・新町の名残を求めて

四ツ橋駅(地下鉄四ツ橋線) 西大橋駅(地下鉄長堀鶴見緑地線)

「大阪あそ歩マップ集」
その1 No.015

地下鉄心齋橋駅

かつて長堀川が流れ、そこに架かっていた橋が心齋橋。その心齋橋から西側に向かうと、長堀川と西横堀川とが交差する四ツ橋でした。

①四ツ橋跡

四ツ橋は、長堀川・西横堀川に架かっていた炭屋橋・吉野屋橋・上繫橋・下繫橋の総称です。2つの川に4つの橋が東西南北に交差して井桁状に架かっているめずらしさから浪花随一の名所でした。小西来山の「涼しさに 四つ橋を四つ わたりけり」、上島鬼貫の「後の月 入て貌よし 星の空」の句碑があります。

②新町橋碑

江戸時代の新町廓は北は立売堀南通、南は長堀通、東は西横堀(四ツ橋筋)、西は現在の新町2丁目あたりの堀で囲まれた地域で、東口大門と西口大門がありました。新町橋は東口大門の先、西横堀川に架かる橋で寛文12年(1672)の創建といえます。阪神高速の高架下に石碑があります。



③新町九軒桜堤跡

かつて、ここに桜堤の石垣があったって、大坂庶民は遊里の夜桜を楽しみました。九軒町には近松門左衛門の『夕霧阿波鳴渡』にも登場する新町最大規模の揚屋・吉田屋があり、幕末には新選組の土方歳三や沖田総司なども訪れています。

④初世中村鴈治郎生誕の地

当地には置屋「扇屋」があり、幕末期(万延元年〔1860〕)に、この「扇屋」の一人娘の妙と、歌舞伎役者の三代目中村翫雀との間にできた子が、のちに上方歌舞伎界を支える初代中村鴈治郎です。『心中天の網島』の治兵衛を演じて「頬かむりの中に日本一の顔」とまでいわれた名優で、その三男が二代目鴈治郎、その長男が現在の四代目坂田藤十郎(人間国宝)です。

⑤新町演舞場跡

新町廓の芸妓たちが踊りを披露した演舞場です。戦後に書籍取次業の大阪屋となりましたが、現在でも社屋一部に演舞場の外観が残されています。自由民権運動に影響された俳優・角藤定憲が、明治21年(1888)に政治批判の壮士芝居を演じたのも新町

演舞場で、そのことを記念した「角藤定憲改良演劇創始之地」の石碑が新町南公園内にあります。

⑥砂場跡の碑

秀吉が大坂城築城の際に当地に砂類の蓄積場を設けました。天正12年(1584)には、工事関係者に麺類を提供する「いずみや」「津の国屋」が開業したと古文書にあり、これが文献上初めて登場する麺類店です。そこで本邦麺類店発祥の地として「ここに砂場ありき」の石碑が建てられました。



地下鉄西大橋駅

